



# 静岡県内経済情勢

令和5年1月31日

財務省東海財務局

静岡財務事務所

# 1. 総論

## 緩やかに回復しつつある。

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が緩やかに回復していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。

### 【総括判断】

前回（4年10月判断）	今回（5年1月判断）	前回比較	総括判断の要点
緩やかに回復しつつある。	緩やかに回復しつつある。	➡	「個人消費」は、持ち直している。「生産活動」は、供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに回復しつつある。「雇用情勢」は、緩やかに持ち直しつつある。

（注）令和5年1月判断は、前回令和4年10月判断以降、令和5年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

### 【各項目の判断】

項目	前回（4年10月判断）	今回（5年1月判断）	前回比較
主要項目	個人消費	持ち直している。	持ち直している。 ➡
	生産活動	供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに回復しつつある。	供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに回復しつつある。 ➡
	雇用情勢	緩やかに持ち直しつつある。	緩やかに持ち直しつつある。 ➡
その他の項目	設備投資	4年度は増加見込みとなっている。	4年度は増加見込みとなっている。 ➡
	企業収益	4年度は減益見込みとなっている。	4年度は減益見込みとなっている。 ➡
	住宅建設	新設住宅着工戸数でみると、おおむね横ばいとなっている。	新設住宅着工戸数でみると、前年を下回っている。 ➡
	公共事業	前払金保証請負金額でみると、前年を下回っている。	前払金保証請負金額でみると、前年を下回っている。 ➡
	企業倒産	件数は前年を下回っている。	件数は前年を上回っている。 —

## 2. 各論

最近の静岡県内経済情勢における主要項目の動向は、以下のとおりとなっている。

### 【個人消費】 — 持ち直している。 —

スーパー販売は、横ばいとなっている。

コンビニエンスストア販売は、回復している。

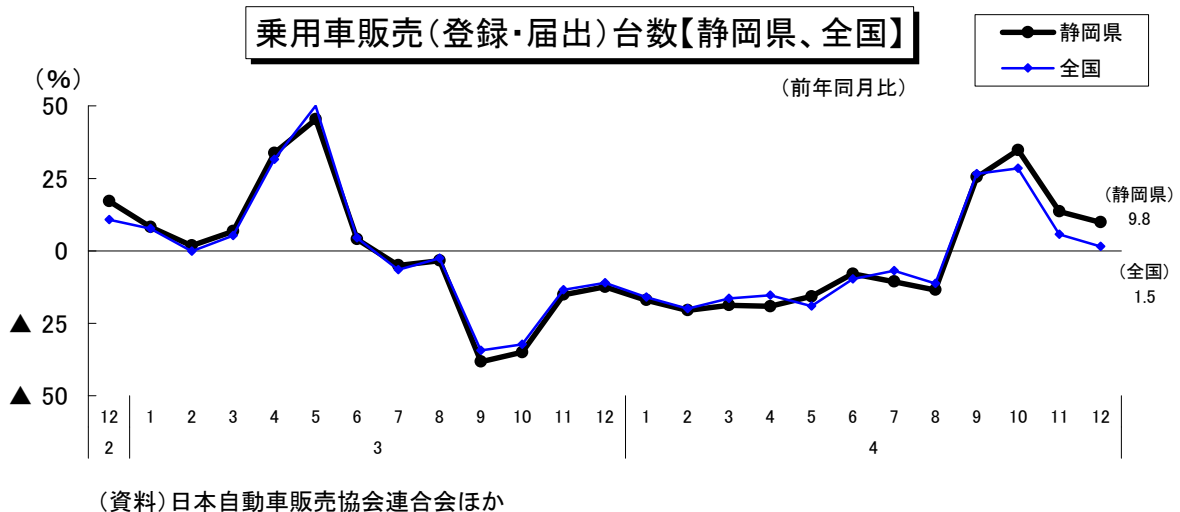
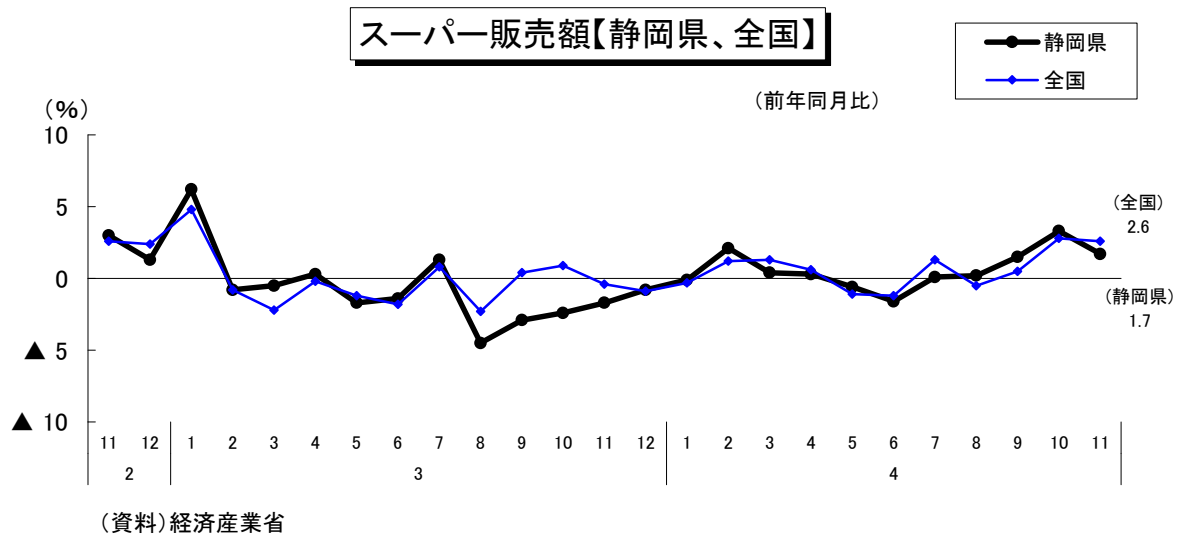
ドラッグストア販売は、新規出店効果等により、引き続き増加している。

百貨店販売は、足踏みの状況となっている。

家電販売は、緩やかに持ち直しつつある。

乗用車販売は、供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

観光地への入込及び宿泊客数は、各種施策の効果等により、回復している。



【生産活動】 — 供給面での制約の影響がみられるものの、  
 緩やかに回復しつつある。 —

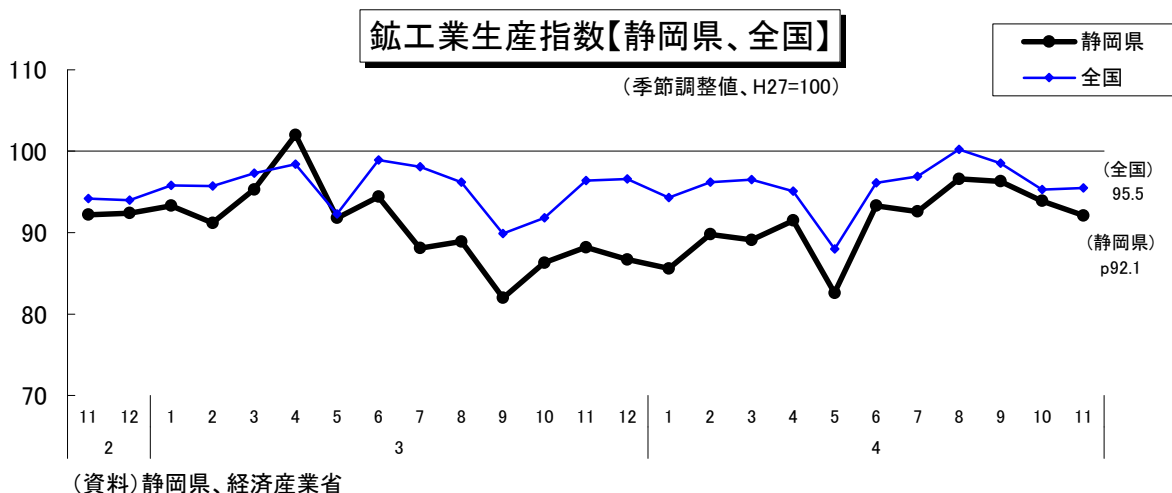
自動車関連では、四輪車は供給面での制約の影響がみられるなか、乗用車は緩やかに持ち直しているものの、自動車部品は弱含んでいることから、一進一退となっている。オートバイは、一部に供給面での制約の影響が残るものの、新型車効果等により、輸出向けを中心に増加している。

電気機械は、エアコン、冷蔵庫を中心に回復している。

金属工作機械は、受注残が豊富なことから、回復しつつある。

紙・板紙は、おおむね横ばいとなっている。

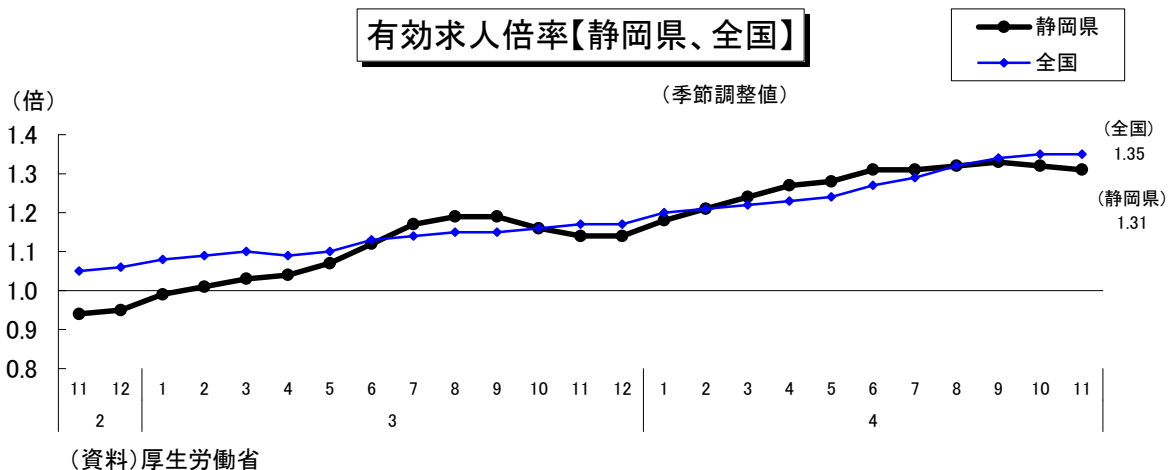
ピアノは、高水準のなか、弱含んでいる。



【雇用情勢】 — 緩やかに持ち直しつつある。 —

有効求人倍率は、横ばいとなっている。

完全失業率は、低水準である。



### 3. 県内景気に関する地域の声

#### 個人消費

- ・ 商品の値上げにより客単価は上昇しているが来店客数は減少した。相次ぐ商品値上げにより、このところ節約志向が高まっている。(スーパー)
- ・ 食料品部門の拡充効果などから来店客数、一人当たりの購入点数が増加しており、売上は好調。(ドラッグストア)
- ・ 半導体不足による供給制約は徐々に緩和されつつあり、納品期間も縮小傾向となっている。受注は好調で納品待ちの状況が続いており、生産されればその分納品できる。(自動車販売)
- ・ 宿泊者数、日帰り客数ともに前年を大きく上回っており、関東圏からの観光客が戻ってきた。1月以降も全国旅行支援の再開後に予約が続々と入っているとのことであり、引き続き良い動きがうかがえる。(地方公共団体)

#### 生産活動

- ・ 完成車メーカーの減産の影響が続いており、依然生産水準を落としている。徐々に半導体不足の影響は緩和されると考えるが、中国からの円滑な部品調達が懸念されるなど先行きは不透明。(自動車部品メーカー)
- ・ 引き続き欧米の二輪車に対する需要は旺盛な中、半導体不足を生産配分の最適化により対応し、高水準の生産を続けている。(輸送機械メーカー)
- ・ 海外景気の減速や物価高などにより、企業における設備投資のタイミングが遅れつつあるように感じるものの、足下では受注残を抱えていることから、高水準の生産を続けている。(工作機械メーカー)
- ・ 段ボール原紙、白板紙ともウィズコロナとなって以降も需要が減少していないことから生産は底固く推移している。今後は観光やインバウンドの回復による土産物の需要の増加に期待したい。(紙・パルプ)

#### 雇用情勢

- ・ 外国人労働者について、円安により相対的に賃金が安くなることから、日本離れが起きている。また、これまで採用していたタイなどの地域の賃金も上昇しており、採用が難しくなっていることから、募集地域の切り替えを進めている。(鉄鋼)
- ・ 製造業からの求人は、全体としては落ち着いてきたが、自動車関連の需要が強まっている。半導体不足が解消され、生産を増強させる動きが進みつつある。(労働局)
- ・ パートやアルバイトの採用は全地域で厳しい。新店オープン時でも、充足率7割程度で開店せざるを得ない状況。退職者分の補充も困難で、時給を上げてでも集まらない地域がある。加えて、最近では正社員の離職率も上がっている。(スーパー)
- ・ ハローワークのほか、派遣会社等の様々な方法で採用に努めているものの確保が難しい。人手不足により、夕食付プランを取り止め、素泊まりプランのみに変更するなど、従業員負担の少ない宿泊プランに絞らざるを得ない旅館もあれば、客室が空いていても予約そのものを断る旅館もある。(観光協会)

1. 本調査結果に関する問い合わせは下記へお願いします。

財務省東海財務局 静岡財務事務所 財務課

TEL(054)251-4323 (ダイヤルイン)

2. 本調査結果の概要は下記ホームページでもご覧頂けます。

ホームページ= <https://lfb.mof.go.jp/tokai/sizuoka.htm>